

新型コロナウイルスの感染者の発生について

7月26日(日)、介護士1名が新型コロナウイルスに感染していることが判明いたしました。

当施設の場合、マスク着用や手指消毒徹底などの感染防御が徹底しているとして、保健所から入所者・職員に濃厚接触者はいないと判断されました。しかし念のため接触の機会があった入所者および職員全員のPCR検査を行いました。(濃厚接触者：家族2名、友人5名)

職員が発症するまでの期間に、担当する部署から退所された3名について検査を行った結果は、幸い全員PCR陰性でした。

7月26日に保健所から連絡を受け、直ちに感染症対策本部を施設内に設置。理事長・施設長以下集まり会議を開催、山鹿保健所や県高齢支援課及び健康危機管理課、鹿本医師会と連携して対応を行っておりました。

7月27日午後5時未明、入所者・職員にPCR陽性者が複数判明しました。

感染されたすべての方の回復を心から願いますとともに、高齢者に接する立場にありながら、収束していない現況で責任ある行動が出来ていなかったこと並びに施設としての指導・監督不足を痛感し、責任を感じております。

陽性者の隔離・転院や通所事業の中断など周知し、保健所はじめ関係方面の協力を賜りながら、施設内の消毒や感染予防対策の徹底に励む所存です。

< 参考資料 >

7月22日(火) 夜勤後に38℃の発熱が出現。

7月23日(木) 山鹿保健所管内のA医療機関を受診。

7月24日(金) 味覚障害が出現。

7月25日(土) 山鹿保健所管内のB医療機関を受診、検体採取。

7月26日(日) 熊本県保健環境科学研究所でPCR検査。

12:40 陽性判明。13:12 当施設へ通知。

令和2年7月27日

介護老人保健施設 太陽 施設長 山下亮一